

あきる野市

第28号

町・自連会報

発行／平成28年2月29日 発行者／中村 勇 編集／あきる野市町内会・自治会連合会会報部会

二十七年度を顧みて

あきる野市町内会・自治会連合会

会長 中村 勇

昨年の天候は、暑さが短期集中型で大気的不安定によるゲリラ豪雨により、各地で多くの被害が発生しました。今年の冬は「暖冬型」と言われ、穏やかな新年を迎えました。

あきる野市町内会・自治会連合会は、平成十一年四月一日に設立され、今年度で十七年を迎えました。

連合会規約の精神を遵守し、時代に沿った「連合会事業・活動計画」を定めて、各町内会・自治会で地域文化に合った活動に生かして、魅力ある地域づくりと心のバリアフリーの構築を図っております。

しかし近年、核家族化、少子高齢化の進行、住民意識の多様化、地域の希薄化等が進み私たちを取り巻く環境が変わってきています。このような環境の中で「草花公園タウ



ン自治会」が連合会に加入し、八十二町内会・自治会の組織となりました。

連合会が市と協働して実施した五月のスポーツ・レクリエーション大会では、一日楽しく会員相互や来場者の方々の親睦が図られました。

八月に開催された「あきる野夏まつり」に十の町内会・自治会のみなさんが出演し「あきる野町内会・自治会音頭」を生歌で踊り、夏まつりが盛り上がりました。

八月三十日に、あきる野市制施行二十周年を迎え、キララホールで盛大に記念式典が開催されました。

秋の産業祭は、連合会展示場を設置し、多くの市民の方々に加入促進と救急医療情報キット等の呼びかけと、町内会・自治会の組織の重要性を呼びかけました。

また、野外ステージでは、「地域の絆を深めよう！」をテーマに、町内会・自治会の子どもたちによるダンス、トリオによる歌、会長有志によるコーラスを披露、会場を盛り上げました。

視察研修会は、平成二十六年七月九日に土石流災害があった長野県木曾郡南木曾町の豪雨災害被害状況を視察し体

験談を伺い、想像を絶する光景の記録写真とお話で説明を受け、平時より防災の心の備えの重要性を痛感いたしました。

会員の皆様におかれましても、安否確認「無事」旗の重要性と日頃より「自助」・「互助（近助）」を構築するご協力をお願いいたします。

近年、日本各地で火山や地震等の活動、豪雨等による災害が発生し、改めて地域力・

「産業祭に参加して」

加入促進部会
部会長 木下 優

平成二十七年十一月七日・八日に秋留台公園で開催された、第二十一回あきる野市産業祭に、あきる野市町内会・自治会連合会が参加し、救急医療情報キット登録、町内会・自治会への加入促進等のPRを行いました。

加入促進部会は、各町内会・自治会の活動が魅力的でなければ、町内会員や自治会員の増加はない、「魅力ある活動は会長に起因する」と考え、加入促進部会員の会長を中心とした合唱を披露いたしました。

ほかに、子供達の踊り、女性コーラス、新・旧市長のインタビュー等をステージ上でおこないました。

合唱に参加した会長は、納得するまで練習し、当日の出来は

防災力の重要性を認識いたしました。

連合会といたしましては、目的達成と安全・安心な地域づくりのため、加入促進・救急医療情報キット等の広報活動を創意工夫しながら継続していきます。

市と会員の皆さんと協働して、住んで良かった街づくりの達成のために、努めて行きたいと考えております。

行政当局をはじめ、連合会会員各位のご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

満点ではなかったかもしれませんが、雨の中、多数の会長に合唱に参加していただき、最後に、「だんべえ汁」を参加者全員で食べ、皆さんの笑顔を見た時、活動の原点は「人」であり「絆」だと確信いたしました。



本年度の総合防災訓練は市立秋多中学校をメイン会場にして、十一月二十二日(日)に実施されました。

午前八時三十分サイレン吹鳴を合図に、立川断層帯を震源とするマグニチュード七・四の直下型地震の発生を想定して、種々訓練が実施されました。

メイン会場である秋多中学校には、周辺道路の関係で大型車を校庭に持ち込むことができず、訓練の内容に一抹の不安はありましたが、関係機関の工夫・努力に依り「防災技能体験訓練」を始めとして十五の項目に分かれて訓練を実施いたしました。

西秋留地区(十の町内会・自治会にて構成)としては、主たる避難所に今回のメイン会場である秋多中学校が入っていませんが南秋留小学校を避難所と考えている牛沼町内会及び油平本町町内会に災害の種類・規模に因っては秋多中学校に避難をする場合も想定できるので、メイン会場への参加を要請したところ、会長さん、防災リーダーのかたがたを始めとして、多数の皆様が参加協力をいただきました。

一方、西秋留地区防災・安心地域委員会としては、各町内会・自治会に対し今回の総合防災訓練では最低限「安否確認旗」の掲出・確認の訓練



地域の話

あきる野市指定文化財(天然記念物)
真城寺のシダレザクラ
あきる野市上代継 三四四番地
真城寺境内

の実施をお願いしたところ、一の谷小学校、西秋留小学校、西中学校を各々避難所とする地域において、安否確認旗の訓練後「災害時一時集合場所」に集合し、市指定の避難所への避難移動訓練を実施、避難者カードへの記入訓練を行い訓練を終了いたしました。

西秋留地区のメイン会場以外の、一の谷小学校、西秋留小学校、西中学校、秋川駅南口運動広場等の「災害時避難所等」に約五百五十人の皆さんの参加がありました。

参加協力ありがとうございました。

あきる野市町内会・自治会連合会の視察研修会を十一月十一日・十二日に実施いたしました。

参加者は56名で、今年度は平成二十六年七月に土石流災害がありました長野県の南木曾町三留野地区の被災地に行つて参りました。

南木曾町役場の職員の方々、三留野地区の被災地を案内していただきました。

道路は寸断され、橋は流され、被災から一年以上たった今でも復旧工事は続いておりました。

被害状況は人的被害・死者1名、建物被害44棟、道路土砂崩落、梨子沢橋落橋、上下水道埋没・断水など、豪雨災

害によって、すべての機能が一瞬にして果たさなくなる事の現実を聞かされた時、他人事ではないと痛感いたしました。

あきる野市も山があり、川もあり、豪雨災害が起きたら!地震災害が起きたら!と考えるとそれは、日頃から一人一人が防災意識を持ち、地域との連携を取り合い、協力し合う事だと思いました。

また、この視察研修を通して各々の会長さんが日頃の町内会・自治会活動の様子など情報交換が出来たこと、とても有意義な視察研修となりました。



梨子沢の仮設橋上より被災地視察

平成二十七年あきる野市総合防災訓練報告

西秋留地区防災・安心地域委員会 委員長 中井 公康

平成二十七年町内会・自治会連合会視察研修報告

幹事長 伊井 晴美

世代間交流の場を設け、安全・安心の町づくりの推進

羽ヶ田町内会 会長 関口 邦雄



当町内会では、農家の世代交代に伴う土地売却が多く発生し、そこに、小さなお子さんを持つ世代の移住が多くなつてきております。移住された世代では、共働き家庭が多くなり、旧来の「ふれあいの場」が少なくなることから、お互いの意思疎通がなかなか進まない状況で、町内会として災害や事件・事故発生時の近助や共助への対応が懸念されます。

町内の安全・安心は、お互いが顔見知りになることが大前提となる、そのような考えから、都の「地域の底力再生事業」の補助を活用して、ふれあいの場を作り、交流の促進を図つてこの状況の改善に取り組むことにいたしました。

目的達成する為には、出来るだけ多くの人に参加して頂

き、参加者が自ら行動して成果が各自実感出来るような展開を考え検討を重ねました。

その結果、自然に恵まれ畑も多くある環境から「地域名産品でお子さんにも人気もあるスイートコーン栽培は」との案が出され、更に町内の農家から、畑提供の申し出もありスイートコーン栽培に取り組み、「世代間交流の場」作りをすることにしました。

農作業は初めて、という人が多いことや、目的達成の為、ふれ合う交流の場を多く持つ、という観点から栽培に関する座学から始めました。

そして、そこで得た知識を基に長寿会と町内会メンバーにより準備した畑に全員でスイートコーンの「種蒔き」を行いました。

除草や間引き等中間の作業は、若い人の勤務日と重なることから、長寿会と町内会とで担当して成長を見守りました。成長の過程の副産物として、「ヤングコーン」が収穫出来、若い世代のお母さん方に大いに喜んで頂くことが出来ました。そして、皆さんが待ちに待った喜びの収穫は実り具合の確認方法を農家の人から教えて頂きながら、総出で実施しました。

特にお子さん達は自分で種を蒔き、成長を見守り・収穫するという初めての体験をする中で、何時も話す機会がな

い大人達と一緒に出来たことが、より一層楽しさを増した様子でした。

また、予想以上の収穫が出来たことで、町内会の盆踊り大会でもふるまうこととしました。その際に大きな力となつてくれたのが若いお父さん達で、率先して取組んで頂き、更に触合いの場作りが広がりました。

そして、収穫祭では長寿会や子供会等を交えて調理したスイートコーンを、参加者全員で頂く場を設けたことで、世代を越えた交流も進み、今後の町内の安全・安心活動に繋げていく素地を作ることが出来ました。

真を撮つたり大騒ぎ、そして流れてきた曲は「恋するフォークンクッキー」練習の成果を発揮し、上手に森つこさんちゃんと一緒に楽しく踊りました。

全ての種目も時間通りに進み、大人達の明日の筋肉痛を心配しつつ、無事終了することが出来ました。

この事業を通じて、世代間の交流ができ、協力し合う町内会内の良が見られて、今後の活性化に繋がる事を確信しました。

平成二十七年年度増戸地区防災標語入選作品

小学生の部
さいがい時あわてず
あせらずれいせい
小林拳太郎(増戸小学校五年)

中学生の部
知っていると必ず役立つ
防災知識
水野 晴香(増戸中学校二年)

一般の部
避難指示出される前に
出る勇氣
中村 直枝(大上自治会)

「芋煮会とミニミニ運動会」

山田下分自治会 会長 大木 常司



冷気を肌を感じる十一月二十二日地域内にあるグラウンドで、あきる野市コミュニティ事業交付金を活用して「芋煮会とミニミニ運動会」を開催しました。高齢化や核家族化が進み近所の付き合いが少なくなる中、自治会では子供から大人まで幅広い参加をよびかけ皆でゲームをして、また、一緒に食べながらの会話等で世代間の交流を深めて自治会の活性化を図る事を目的としました。この事業は特別に実行委員会を設立し若い会員が中心となり企画し、自治会内の諸団体の協力で運営しました。開始時間には、子供

草花公園タウン自治会紹介

草花公園タウン自治会 会長 島田 尚博

から大人まで約百八十名が集まり、準備運動は「方言ラジオ体操から始まりました。最初の種目のラケットボール運びでは、硬さが見られた表情も、次の種目からは皆リラックスし、「風船割り」「何人乗れるかな」「玉入れ」「大王運び」「みんな綱引き」には、各競技出場者が招集係の指示で入場門に集まり全員が各々の種目に参加してくれました。競技は、ピストルの号砲で始まり、子供も大人も一生懸命で普段では見られない表情で頑張っていました。ブルドーザーを敷いた観客席では、大きな声援と笑いもあり会場が大きな盛り上がりを見せました。昼食は、皆でおいしい芋煮を食べて、飲みの懇談時間、ひと休みした後、今日のサブライズに森つこさんちゃん登場、間近で見た子供達は、触れたり、一緒に写

私達が住む草花公園タウンは、小宮地区にあり、草花小学校の西側、南には平井川が流れています。

草花公園タウン自治会は、鉄筋コンクリート三階建て二棟二十五戸、木造二階建て五棟の市営住宅の全世帯が加入しています。平成二十七年六月二十日に、会員の親睦と環境保全、美化活動等を目的に自治会設立総会を開催し、誕生いたしました。

初年度の自治会活動は、庭の清掃・除草を三回、七夕祭り、カラオケ大会、敬老会、忘年会等を開催いたしました。昨年九月よりあきる野市町内会・自治会連合会に加入いたしました。

よろしくお願いたします。

平成二十七年 あきる野市市民表彰

多年にわたり、町内会長・自治会長として市行政の推進に貢献された二名の方が十一月三日まほろばホールにおいて表彰されました。

○市民表彰

高橋 和夫(西伊奈自治会)
黒田 俊一(西ヶ谷戸町内会)

自治会紹介

日本一の仲良く朗らかな自治会を目指しハッピーな輪を拡大中!!

あきる野市富士見台自治会
会長 石原繪哩子

富士見台自治会は、JR秋川駅西側約400mに位置し、258世帯、加入率約60%の自治会です。

箱根駅伝で連覇を遂げた青山学院の原晋監督は、選手が競技に取り組みやすい環境を整備し、特に雰囲気作りを重視し、体育会特有の縦割り組織を否定し、組織力を高めるとともに選手の自主性を育てています。「ぼくはファーストペンギン、最初にやる人はたたかれます」とも言っています。



富士見台自治会も今年度会員の自主性を重んじた、昨年度の「ワクワク大作戦」に続く「ハッピー大作戦」を完結させました。

「夏休みワクワク企画」として、夏休み中の4分の3の3日間、ラジオ体操を実施しました。毎朝早くから北公園に集まり、一人1本の除草を實踐し、ラジオ体操終了後は、恋するフォーチュンクッキー、ソーラン節、妖怪ウォッチ体操などの踊りの練習をして、老人ホームなどへの慰問、納涼盆踊り大会や秋祭りで披露しました。

今年度の目玉は、東京都の「地域の底力再生事業助成」を活用し「若い世代と高齢者世代の交流を通じた子供育成事業」での助成金30万円をゲットしたことです。敬老会の誠和会と西秋留小学校PTAと当自治会が協力して年

間事業を全て一緒に実施しました。これらの事業を通して相互理解が深まり、お互い顔見知りになり仲良くなることで地域の活性化が進み、地域の防災活動にもつながりました。

あきる野市のコミュニティ事業では、けん玉大会を実施しました。花壇コンクールでは前年度は最下位でしたが今年度は第2位の優秀賞の荣誉に輝きました。来年度は1位の最優秀賞を目指して頑張ります。

「任んでハッピーな富士見台自治会に一緒にしませんか!!」をスローガンに日本一の富士見台自治会を目指しています。

資源集団回収も今年度より毎月実施しています。富士見台自治会は人材の宝庫です。一人一人が自主的に活動し一人一人が輝き自由で伸びやかな自治会です。

役員会・全体会の協議事項

平成二十七年

- 八月十二日(役員会)
 - 草花公園タウン自治会の連合会加入について
 - AEDの今年度設置状況及び次年度の設置推進について
 - 健康のつどいへの参加について
 - 九月十六日(役員会)
 - △ 市制施行二十周年記念式典関係あきる野市地域子ども育成リーダー制度について
 - コミュニティ助成事業について
 - 十月十四日の全体会及び役員会
 - 十月十四日(全体会・役員会)
 - △ 二斉清掃(秋季)の実施について
 - △ 市制施行二十周年記念映画一般劇場公開について
 - △ 避難勧告等の判断・伝達マニュアル(土砂災害)について
 - △ 配布物等委託料の支払い・花いっぱい運動推進事業調査

平成二十八年

- 一月六日(役員会)
 - △ 地域懇談会について
 - △ 各種団体委員等の推薦依頼
 - △ コミュニティ事業追加募集
 - 新年会について
 - 平成二十八年定期総会に向けてのスケジュール
 - 地域懇談会に関する要望
 - 一月十五日(新年会)
 - (会報部会 萩原泰壽)
 - (注) ○印は、連合会協議事項
 - △印は、市の報告事項

編集後記

会報二十五号の発行から二年、限られた紙面の中に町内会・自治会連合会の活動報告や、八十二町内会・自治会の取組みの紹介等を中心に、紙面作りに取組んでまいりました。最後の会報二十八号を皆様にお届けいたします。

編集作業等慣れないことが多く、各地区の会長始め役員の思いが十分に伝えられてい

るのか、町内会・自治会の活動に役立っているのか等々、試行錯誤の連続でした。

毎号、読んでいただいた会員の皆様、読後の感想をいただいた方々、ご多忙の中、快く執筆にご協力いただいた皆様と、編集会議等にご協力いただいた中村連合会長、山中会長代行、会報部会の皆様にご心より感謝申し上げます。

- 会報部会長
- 野崎 忠
 - 萩原 泰壽
 - 栗原 正吉
 - 沼田 隆治
 - 華房 実